

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立井口台小学校	校長氏名	中島 孝子	生徒指導主事氏名	梶川 恵理
-----	------------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『ふれあい広場』

取組のねらい『キーワード 児童・教員・保護者・地域の連携』

- 生活科・総合的な学習の時間を中心とした学習の成果を発表する。
- 企画に参加することにより、児童、教員、保護者、地域の方々がお互いにふれあえる時間を設ける。

取組の具体的内容『キーワード 学習発表』

○ねらいに即した学習活動の工夫

①行事の企画・運営について

- 1 学年…生活科の学習で作った作品や体験をまとめた掲示物を展示する。
- 2 学年…図画工作科で作ったおもちゃを展示し、「おもちゃランド」として発表した。
- 3 学年…理科「風の力」「昆虫調べ」をゲーム形式で発表
- 4 学年…地域の伝統や町の成り立ちについて、総合的な学習の時間で調べたことを発表する。
- 5 学年…野外活動の内容をクイズ形式やオリエンテーリング形式で企画し、他学年児童の参加型発表の場とする。
- 6 学年…ひろしま型カリキュラム「英語」を体験できる場を設定し、他学年に理解してもらう。

②他学年の企画への参加について

全学年とも他学年の企画を見学したり、参加したりすることにより、井口台小学校の学習内容や伝統について理解すると共に、次年度以降のふれあい広場の企画を計画することを学ぶ。



← 3年生

『いけいけドンドン風の力』

取組の課題・創意工夫『キーワード 交流』

- 企画・製作・運営を子どもたちが中心となっていく。
- 運営に関しては、大別して前半と後半（担当でない場合は他の学年企画への参加）に分かれて担当を決め実施する。

取組の成果（効果）『キーワード 交流・主体性』

- 子どもたちが仲間と目を輝かせて取り組み、感動を生む行事の創造
 - ①企画・製作・運営を子どもたちが中心となっていくことで主体的な行動が生まれ、創意工夫する力も育まれた。
 - ②運営に関しては、大別して前半と後半（担当でない場合は他の学年企画への参加）に分かれ、担当を決め実施することで責任感と協調性が生まれた。
 - ③同じ目標に向かって取り組むことで連帯感を身に付けることができた。
 - ④保護者や地域の方に発表することで、緊張感と達成感を味わうことができた。



← 6年生

『世界一受けたい6年の授業』

今後の展開『キーワード 学級自治の力』

- 児童自身が学級生活の主人公となる。
子どもたちは、ふれあい広場での計画・準備・実施の学習を通して自分達で考え行動する力を身に付けている。そこで、この学習で培った力をその後の学級での生活に生かし、子どもたちの自治の力を育てていく。

他校へのアドバイス『キーワード 主体性・交流』

- 子どもたちに企画・製作・運営を子どもたちが中心となっていくことで主体的な行動が生まれ、創意工夫する力も育まれるので、非常に良い学習活動になると考えられる。